

**2学期終了 ～楽しさ+命を守る「冬休み」に～**

今日で2学期が終了しました。保護者の皆様には大変お世話になりました。そして、子ども達を無事に保護者の皆様のもとにかえせることを少しホッとしています。2学期の登校日の数は「84日または79日」いろいろあった2学期でした。

2学期もやはり新型コロナウイルス感染症に振り回されました。誰がかかってもおかしくない状況が続き、「命」にかかわる対応であることを常に意識しながらの学校運営をしてきたつもりです。全職員が「学校が起因となる感染や拡大は絶対に起こさない」という覚悟をもって細心の注意を払いながら対応してきました。たくさんの制約がある中、自分の命を守ること、他の人の命を守れることを意識して行動できたことは大きな成果であると思います。「命があること」「生きていること」は当たり前のことではありません。

本日のテレビ放送による終業式では、2学期について振り返り、楽しい冬休みにしてほしいことを話した後、冬休みに向けて子ども達と約束を交わしました。長期の休みの前にはいつも同じ約束、と思った子もいたかもしれません。それぐらい重要なこととして何度でも同じ事を伝え続けています。それは、何があっても

「死なないこと」

冬休みは楽しい期間であるべきにもかかわらず、毎年繰り返される子どもの事故。交通事故、火事、不審者……。ちょっとした心の隙・ゆるみが大きな事故に結びついてしまうことを話しました。そして、事故に遭いたい、死にたいなんて思っていた子は誰もいないことを話しました。

さらに、もう一つ約束を付け加えました。それは「**コロナ対応**」です。現在、福島県の感染者は過去最多を更新し、二本松においてもかなりの方が感染している状況です。新聞などで各市町村別の感染者が報告されなくなっただけからやや危機意識が薄れているように思いますが、間違いなく大変危惧すべき状況であることは間違いありません。人との接触、外出、冬休みという気のゆるみなど、感染リスクは大きくなるものと思っています。お正月の時期を過ぎて感染者が急激に増加する傾向が続いています。感染拡大防止に向けて自分ができることをしっかり行うことを求めました。

当たり前と思っていることは実は当たり前ではなく、突然なくなってしまうこと、突然変わってしまうことだってありえます。「**後悔先に立たず**」です。

子ども自身がまずは、自分の命を守る行動をとることは前提になりますが、教師が、保護者が、子どもを取り巻くすべての大人がアンテナを高くし、配慮すべきことはしっかりと配慮することで防げることは何としても防がなければなりません。どうぞよろしくお願いします。



2学期間、大変お世話になりました。1/10にまた会いましょう。

※冬休み中の事故などはもちろん、新型コロナウイルス感染症の陽性者・濃厚接触者になった場合は必ず学校へご連絡ください。

◆平日・日中 0243-23-0029

◆夜間・休日 080-2814-4808 (12/29～1/3も含む)